

令和6年度 サッカー部の指導方針等について

令和6年4月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	加藤 仁道	渡辺 昇一郎	柏レイソルユース 横浜 FIFTY CLUB	隔週一
副顧問	竹中 康雄	田辺 優一	本校サッカー部 OB 全国大会準優勝	隔週一
副顧問	永井 基博			
副顧問	高野 英明			
副顧問	末松 龍元			
副顧問	加納 茉侑			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
 - ・考えるトレーニングを多く設定し、「思考力、判断力、表現力」を育てる。
 - ・トレーニングや練習試合を通して、生徒の体力向上に向けた取り組みを行う。
 - ・生徒一人一人がチームにおける役割を考え、自主性、規範意識を育てる。
 - ・生涯スポーツとしてのサッカーに触れ、生徒の QOL 向上を目指す。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
 - ・全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権
【もうひとつの高校選手権】全国大会 優勝
 - ・東京 FID カップ (I 部) 優勝
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
 - ・多摩地区の特別支援学校に在籍、もしくは高等部へ進学を考えている中学生を対象にサッカー教室を行い、運営補助として生徒が活動する。
 - ・年齢、障害に関係なく、地域のサッカーチームと練習試合を行う。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
 - ・練習は週 5 日間 (土日含め) とし、平日は 2 時間、土日は 3 時間を基本とする。
 - ・ただ走るだけの練習や、順番待ちの多い練習を無くし、頭と体の両方を使うトレーニングを計画する。
 - ・顧問は全員年間 2 回程度の指導実践を行い、指導技術を向上させる。
- (2) 練習や試合等の計画
 - ・年間を通じて月 2 回の練習試合 (公式戦含む) を行う。
 - ・日本知的障がい者サッカー連盟および、東京都知的障がい者サッカー連盟に加盟し、両連盟が主催する大会 (年間 7 大会予定) に参加する。
 - ・東京都障害者スポーツ大会に参加する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
 - ・家庭と連携し、食育を進める。
 - ・スポーツマンシップ、および JFA のリスペクトの精神を伝える。

- (4) 生徒相互の人間関係
 - ・コートの中、外問わず挨拶をする姿勢を育てる。
 - ・学年に関係なく、協力してグラウンド整備や片づけを行う。
- (5) 学習と部活動
 - ・就業技術科の生徒として、現場実習やインターンシップなど職業に関する学習を第一に考える。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
 - ・科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問と外部指導員で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
 - ・運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
 - ・顧問と外部指導員のそれぞれの役割について話し合い、共通理解を図った上で指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
 - ・生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
前期	4	部活動・仮入部開始
	5	東京都障害者スポーツ大会
	6	
	7	中学生部活体験（7, 8, 9月） フットサル選手権東京予選
	8	フットサル関東交流大会 夏季合宿
	9	SG リーグ フットサル選手権関東予選
後期	10	中学生部活体験（10月）
	11	特体連サッカー大会 東京 FID カップ もうひとつの高校選手権 東京予選 フットサル選手権全国大会
	12	もうひとつの高校選手権 関東予選 サッカー教室
	1	東京サッカーフェスティバル もうひとつの高校選手権 全国大会
	2	
	3	三年生を送る会